

留学体験レポート

国際学部 2年 木村颯人

私がアメリカ留学で一番驚いたことは、アメリカと日本との食べ物、飲み物の大きさの違いです。

まずはドリンクについてです。アメリカに着いたその日にマクドナルドへ行ったのですが、ドリンクのサイズに驚きました。私は一番小さいサイズ「Small」を注文したのですが、出てきたのは日本では一番大きいサイズに見えました。私は店員に「これが Small なのか」と尋ねたところ、やはりそれは「Small」でした。見たところその Small カップには 500ml を超える容量が入るだろうと思いました。これに疑問を持った私は、サイズが大きいのはマクドナルドだけなのではないかと思い、数日後にバーガーキングへ行きました。そこでも Small サイズのドリンクを注文しましたが、やはり結果は同じで、私の想像を超える Small サイズのドリンクカップを渡されました。後に気づくのですが、アメリカのファーストフード店でのドリンクは飲み放題となっていました。また、どのサイズを選んでも値段が変わらないということも日本では考えられないところです。帰国後にファーストフード店で誤って Small を注文してしまった私はとても愕然としてしまいました。今ではとてもアメリカの「Small」が恋しいです。

私はよく、ウォルマートと呼ばれるショッピングセンターに行ったのですが、初めてそこに行ったときは食品の何もかもに驚かされました。食品や飲み物の大きさ、そしてまとめ売りに驚きました。スナック菓子は 1 袋で日本の 5 倍ほどの容量でしたし、ベーコンや鶏肉に目を向けると、量、大きさ共に信じられないほどでした。私も時々、肉や野菜を買っていましたが、全部使い切るのは 1 回の料理では不可能でした。飲み物も 1 リットルの容量が一本で 1 ドルしなかったり、まとめ売りで安くなっていたりと日本で買うよりもかなり安い値段で買い求めることができました。食べ物、飲み物のどちらにも共通するのですが、日本とアメリカの両国で同じものが売られていても、断然アメリカの方が安かったです。例えば「プリングルズ」というポテトチップスなのですが、アメリカでは 1.5 ドル程度、日本では 300 円程度と、約 2 倍の差がありました。このような価格差も日本とアメリカの違いで、面白いところだと思います。

他にも様々な違いがありますが、食文化の違いが一番身近で分かりやすいと思い、述べました。むしろアメリカと日本の共通点を探す方が難しいと思うので、これからアメリカに行こうと考えてる皆さんは、アメリカと日本の共通点というものも見つけてみると面白いかもしれません。